



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和6年12月20日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

2024年もまもなく終わりです。どんな1年でしたか？

2024年は1月1日に能登地震が発生し、その後も豪雨や連続真夏日を更新するなどの異常な暑さと、自然の力に怖さ、驚き、戸惑い、怒りなどを感じた1年になりました。幸いにも古江小学校では、7月の豪雨でも直接的な被害を受けるようなことはなく、保護者への引き渡しもスムーズに行うことができ、大きな影響を受けることはありませんでした。

夏休みのパリオリンピックの興奮が残っている状態で2学期がスタートし、暑さに負けず、教室での学習や地域に出かけての学習、様々な行事へ積極的に参加し、こどもたちも教職員もふるえがおで頑張り通しました。学校に来られたお客様や地域の方からも「こどもたちのあいさつがいいですね。」「きちんと話が聴けますね。」とほめていただくことも増えてきています。

着実に成長している古江っ子。2025年もさらなる飛躍ができるよう、冬休みにしっかりエネルギーを充電してくることを願っています。

少し早いですが、保護者の皆様、地域の皆様には、今年も大変お世話になりました。来年も引き続き、こどもたちの笑顔のためにご支援のほどよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。

人権集会

12月4日（水）ロング昼休みに、ふれあいアート委員会の企画・運営で人権集会を開きました。人権教育担当の松本教諭の話に続き、縦割り班活動でバースデイサークルをしました。これは、しゃべらないで、4月～3月までの誕生日順に並ぶというゲームです。指で数字を表して伝えたり、伝えたいことを推測したりして、誕生日順に輪を作りました。成功したのは15グループの中で1グループという難しいものでした。次に行ったなかよし列車（貨物列車の曲に合わせたドンジャンけん）のゲームでは、笑顔で楽しんでいました。古江小学校のこどもたちのよさに、学年男女関係なく遊べる事が挙げられます。その姿はとてもほほえましいです。



学校評価のアンケートへのご協力ありがとうございました。自由記述のところで、学校HPを毎日親子で楽しみに見ているという嬉しいコメントがあり、担当の教頭はますます力が入っています。

また、「〇〇のことを載せていただきたい。」というリクエストもいただくようになりました。日々のこどもたちの様子で知りたいことがあればおっしゃってください。記者が現場に走ります！

第2回学校運営協議会報告

11月20日に第2回学校運営協議会を開催しました。まず委員の皆様にご子どもたちの授業の様子を観ていただき、感想をいただくと共に学校経営に関するご意見をいただきました。

○子どもたちの様子について

- ・落ち着いて学習できている。音楽では楽器を楽しそうに扱っていた。子どもの笑顔がよい。
- ・落ち着いて学習ができている。はさみを使った作業学習においても安全にできていた。先生の話もしっかりと聞けていた。
- ・朝の見守りの時とは違う表情がみられた。しっかりと切り替えて、学習に集中できていた。今は何をすべきかを考えて行動できるようになっていると感じた。
- ・チャレンジランニングでは、自分の力を出し切る姿がみられた。最後まであきらめず走る姿を認めてやりたい。
- ・学びの雰囲気ができている。先生とこどもの一体感を感じることができた。

○ご意見

- ・自分に自信を持てないと、自分を否定的に捉え、人と会うことが怖いと感じることもある。小学校の時から自分を肯定的にとらえることが大切。
- ・自分の得意を見つけることやいろんな人と出会うことが大切。コロナ禍で止まっていた親子活動が久しぶりに再開し、人と出会うことの大切さを実感した。
- ・学校や家庭でできないことでも、地域で支えていけるといい。学力調査だけでは測れないものもある。こどものいろんな側面を伸ばしていくことが大切。
- ・自分のやりたいことを見つける。“好き”を見つけると変わる。学校に居場所（すまいる教室）があることで落ち着いて自習ができていた。教室ではできない体験。自分を振り返るいい時間となっているのではないかな。
- ・豊かな心を育てる教育を大切にしてほしい。「心の直さぬ学問のなんの栓あるか」。心技体のバランスが大切。
- ・学校・家庭・地域がともに子どもとかかわっていくこと。困ったことあれば相談し合ってすすめていきたい。

こどもたちや学校のためにお力添えをいただいていることに改めて感謝申し上げ、引き続きご示唆とご支援をお願いさせていただきました。



3～6年生は、12月4日・11日に地域ボランティアの方：9名に来ていただいて、書初め練習を行いました。事前を書く文字を決めてお手本を準備していましたが、はじめのところで書きたい言葉ごとに実際に書いていただいていた。左の写真がその様子です。

こどもたちは、地域の方が一画一画解説を入れながら書かれる姿を食い入るように見て、自分の条幅紙に向かっていました。気持ちのこもったいい作品が仕上がっていました。